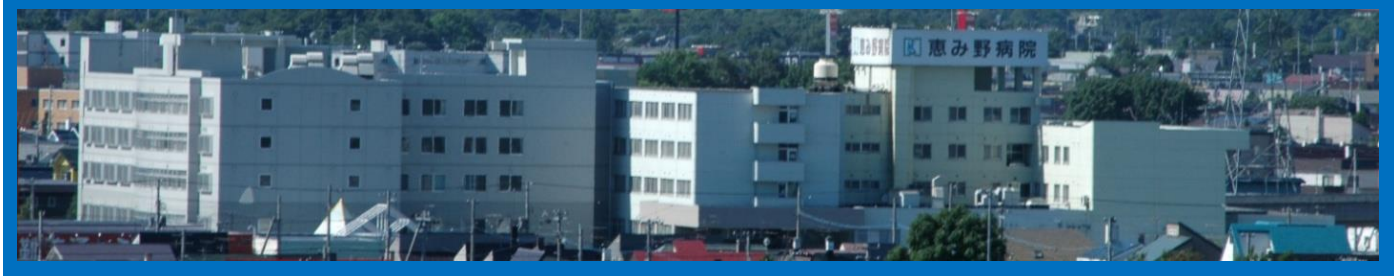
信頼と誇りと

恵み野病院だより

平成28年8月30日 No.40



ごあいさつ

院長 貝嶋 光信

リオデジャネイロオリンピックの閉幕とともに北海道の夏も盛りを過ぎようとしています。思い起せば1964年10月10日の東京オリンピック開会式が鮮やかに脳裏に浮かびます。55歳以下の方々は記憶に無いか、もしくはまだ生まれる前の出来事と思いますが、60歳以上の皆さんには当時の高度経済成長下の日本と重ねてそれぞれの人生の輝かしい一幕として東京オリンピックの想い出が蘇るのではないでしょうか？

私の生まれ育った九州の片田舎にも東京オリンピックの聖火リレーはやってきました。当時中学2年生だった私は、中学校の一年先輩の生徒会長が聖火リレーランナーとして白い鉢巻きを巻いて颯爽と伴走していた姿をうらやましく見物していました。

時は移り、4年後はまた東京でオリンピックが開催されますね。ハレー彗星の帰還ですら76年周期（1986年にハレー彗星はその勇姿を現しました。次に地球にやって来るのは2061年の夏とのこと）であり、人生に2回経験するのは容易でないのに、東京オリンピックは56年ぶりで再び遭遇することとなり、1人興奮しています。4年後の日本がどのような形をしているか？少しの心配を胸に秘め、再び経験する東京オリンピックを楽しみにしています。

「地域の健康講座」に行ってきました

6月21日**たよれーるひがし**の日（恵庭市福祉会館）、
6月28日**たよれーるきた**の日（恵み野憩いの家）、
7月12日**たよれーるみなみ**の日（大町憩いの家）の３会場で「お医者さんによる地域の健康講座」として、当院 整形外科 村元敏明医師が、「骨そしょう症にともなう骨折について」と題して講演をいたしました。３会場あわせて約７０名の参加がありました。講演の中では、骨そしょう症と骨折についてわかりやすい説明と予防についての説明がありました。

今後も地域に出向き、こうした活動が継続的に実施できるようにしていきたいと思います。

病院敷地内禁煙のお知らせ

平成20年7月1日より、当院の**病院建物内および駐車場、通路を含む敷地内での喫煙は禁止**となっております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

恵み野病院ホームページアドレス： **http://megumino.or.jp**

「恵庭市中島・恵み野地域包括支援センター」１０月１日　RBパーク２Fでオープン！

恵庭市が当北晨会と委託契約を結び、市内で４箇所目になる「恵庭市中島・恵み野地域包括支援センター」（通称：たよれ～る中島・恵み野）が、１０月１日に恵み野北にある恵庭RBパークの２FのS-207号室でオープンすることになりました。

今回の開設は、恵庭市の生活圏域の区域の変更に伴うもので、当センターが担当する地域は、恵み野全域（東西南北）、中島町、恵み野里美となります。この地域には１万６千人が生活されていますが、その内65歳以上の高齢者は、4,200人いらっしゃいます。当地域包括支援センターでは、主にこの4,200人の高齢者の生活を相談支援をしながら支えていくことになります。

当センターには、三職種（主任介護支援専門員・看護師・社会福祉士）等が配置され、具体的には①軽度の障害者（要支援者）の介護予防マネジメント業務②困った時に何でも相談できる総合相談支援業務③認知症高齢者の適切な対応、虐待防止など高齢者を守る権利擁護業務④高齢者が住み慣れたこの地域で暮らすために、医療や介護機関、町内会や老人クラブ、行政機関などと連携・協働体制の構築をめざす包括的・継続的ケアマネジメント業務等が主な仕事で、24時間、365日、相談を受け付けできる体制になっています。　今後、この地域の患者さんや、住民の方々から、何か相談・困り事などがありましたら、遠慮なく一報いただければ幸いです。

電話番号は(0123)36-0036です。

＊当センターは、来春３月１日からは、当法人の高齢者住宅「シャロームめぐみの」１Fに移転いたします。

サービス付高齢者住宅「シャロームめぐみの」近況報告！

当法人待望のサービス付高齢者住宅建設工事が７月15日から着工いたしまた。そしてこの住宅の名称も「シャロームめぐみの」と決定しました。「シャローム」とは、ヘブライ語で「平和」、「こんにちは」という意味で、そこに入居されるみなさんが、いつまでも穏やかに、共に交流しながら楽しく暮らしていただけるという願いが込められた素敵な名前だと思います。

「シャロームめぐみの」の特徴は、①24時間対応可能な恵み野病院に併設している②同一建物内に訪問看護、訪問介護、居宅支援事業所、地域包括支援センターが併設され、医療や介護、相談援助と包括的な支援ができる③居室内には、全室にバス、トイレ、収納、冷暖房などフル装備であること。「地域包括ケア」の観点でいう、高齢者がいつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせる街づくりにマッチした住宅になっています。

現在、パンフレットを作成中で、出来次第（９月上旬予定）、入居相談を受け付ける予定です。そしてオープンは来年３月１日に「内覧会」を行い、３月中旬を予定しております。患者さんはもちろん、職員のみなさんの身近な方々の中で、「シャロームめぐみの」にご興味のある方、どんどんご相談ください。

相談窓口は、ケアサポートの高畠、田中です。　**恵み野ケアサポート (0123)37-5060**